災害・避難カード (マップ形式) の作成手順

平成●年●月●日

はじめに

◎災害・避難カードとは

自然災害に対して、皆さん自身で適時適切な避 難を行うために

"避難すべき場所などをあらかじめ認識して おくための仕組み"です。

◎主な取組内容

- ①避難時に**危険と思われる箇所**を地図に書き込みます。
- ②**危険箇所**を踏まえ、より安全な避難ルートを考えます。
- ③隣近所の人とも話し合いながら協力してつくります。

兵庫県佐用町の水害

- ・ 平成21年台風9号により兵庫県佐用町で記録的な集中豪雨が発生
- 千種川や佐用川の堤防決壊、越流等の外水氾濫による洪水災害が発生
- ・佐用町では、避難の途中に水路に足を取られて流されるなど、死者・行 方不明者は20名にもおよんだ。



佐用町役場の浸水被害状況



JR姫新線の洪水被害の状況



河川沿いの住家の被害状況



避難時に住民が泥流に流された現場



上月地区における住家の洪水被害



多くの住民が流された水路

兵庫県佐用町民による取組事例

三日月地域づくり協議会事業

東部地域

ハザードマップ



三日月地域づくり協議会 東部運営委員会 もみじ部会

平成21年7月1日 作成

■ ハザードマップとは

ハザードマップとは、災害の危険度を地図上に表したものであり、地域における災害に対する備えの強化、住民の災害時の避難や危険回避などの自主的な行動を支援することを目的に作成されたものです。ハザードマップには、地震災害、水害、土砂災害などを対象としたものがあり、避難行動時の活用、災害学習、防災情報の整理などの活用目的に応じて利用されます。日頃から地域の災害危険性を認識し、災害発生時には迅速な避難行動や災害応急対応を行えるよう、あなたの地域のハザードマップを確認しておきましょう。

※ このマップには、被害範囲予測や避難場所等は表示していませんが、今後表示していく予定です。

🏿 このマップの目的

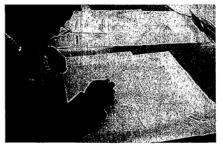
このマップは、台風の大雨と梅雨前線等による集中豪雨の大雨の時に、住宅に水が侵入しやすい箇所や土砂災害の危険性のある箇所を示したものです。これは、地域ごとの危険箇所を知り、いざというときのために住民の方に役立てていただきたく作成しました。また、これに先立ち消防団三日月支団消防団(東部地域)と対策会議を開催し、人命の救助と家屋への水及び土砂等の侵入を防ぐことを優先的に検討しました。



消防団との会議

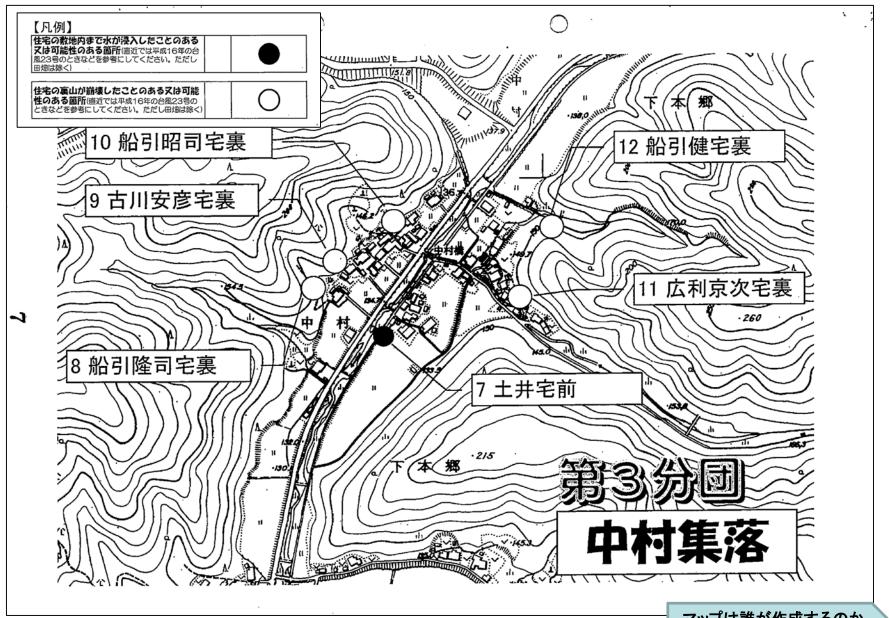
- · 第1公田(三口日集英)
- ・第2公団(基层集落)
- ·第3分団(湯小、中村、仁増、鎌倉 大内谷、添谷6集落)

マップの作成



1

兵庫県佐用町の取組事例



災害・避難カード(マップ形式)の作成にあたって

河川管理者の役割 (国土交通省、愛知県)

- 適切な河川管理(堤防管理、除草作業等)
- 浸水想定区域図の公表







豊川市

- ・洪水ハザードマップの作成・公表
- ・避難所の指定、運営
- ・避難勧告等の発令





住民の役割(適切な避難行動)

- •避難所の把握
- ・安全な避難経路等の把握
- ・避難のタイミングの把握
- ・地域内での助け合いの実施

避難に向けた事前準備

住民が主体として作成する

災害・避難カード作成"の実施

本日のスケジュール

前提条件とする災害等

これから作成する災害・避難カード(マップ形式)は、河川の洪水氾濫による水害を対象災害とします。

※水害:洪水など河川の氾濫等によって受ける被害

●●区の災害・避難カード(マップ形式)は、豊川(国管理河川)の洪水氾濫に対する避難を対象とします。

水害に対する地域の防災力向上に向けて

自助、共助の重要性

近年、各地で**局所的集中豪雨**などが発生し、 **想定を超えた河川の増水**により、洪水被害が発生しています。

行政は河川整備や防災体制の強化にも努めてきましたが、このような水害のリスクが増加している中で、地域や住民の一人ひとりが自発的に防災に取り組む「自助、共助」の重要性が高まっています。

日頃からの準備と知っておくべき事項

いつ、どこへ、どのように避難する?

避難時の持ち出し品の用意や家族間の連絡先や連絡 手段を確認するなど、日頃からの備えが重要。



避難する時には下記のことを知っておく必要があります。

- 1いつ避難すれば良いか
- ②どこの避難場所に行けば良いか
- ③避難場所には、どの経路で移動すれば安全か

①避難に関する様々な情報

水害に関する情報の把握

いつ、避難すれば良いか?

安全に避難するためには、正確な防災情報を入手 し、適切なタイミングで避難する必要があります。

- ●水害に関する防災情報
- 気象台が発表する気象情報
- 気象台と河川管理者が発表する洪水情報
- 自治体が発令する避難勧告等の情報

気象台が発表する気象情報(降雨に関する情報)

気象警報等発表時における市町村や住民の対応例

	気象警報等の種類									
	大雨		暴風	高潮	波浪	暴風雪	大雪	市町村の対応	住民の行動	
	(:	土砂災害)	(浸水害)	22.1-11	1-21112	12012	2011			
特別警報 (重大な災害の 起こるおそれが 著しく大きい)	土砂災害警戒情報	大雨 特別警報 (土砂災害)	大雨 特別警報 (浸水害)	暴風 特別 警報	高潮 特別 警報	波浪 特別 警報	暴風雪 特別 警報	大雪 特別 警報	・直ちに最善を尽くして身を守るよう住民に呼びかけ・特別警報が発表され非常に危険な状況であることの住民への周知	・直ちに命を守る行動をとる(避難所へ避難するか、外出することが危険な場合は家の中で安全な場所にとどまる)
警報 (重大な災害の 起こるおそれ)		大雨 警報 (土砂災害)	大雨 警報 (浸水害)	暴風警報	高潮警報	波浪警報	暴風雪警報	大雪 警報	 避難の呼びかけ 必要地域に避難勧告・指示 応急対応態勢確立 必要地域に避難準備(要援護者避難)情報 避難場所の準備、開設 警報の住民への周知 	・早めの自主避難、又は市町村の 勧告・指示による避難 ・暴風警報については、安全な場所に退避 ・日頃と異なったことがあれば、市 役所などへ通報 ・危険な場所に近づかない ・避難の準備をする
注意報 (災害の起こる おそれ)	大雨 注意報		強風 注意報	高潮 注意報	波浪 注意報	風雪 注意報	大雪 注意報	警戒すべき区域の巡回注意呼びかけ気象情報や雨量の状況を収集担当職員の連絡態勢確立	・非常持出品の点検 ・避難場所の確認 ・窓や雨戸など家の外の点検 ・テレビ、ラジオ、気象庁HPなどか ら最新の気象情報を入手 ・気象情報に気をつける	

気象台と河川管理者が共同で発表する情報(河川毎に発表)

洪水予報の標題(種類)	発表基準	市町村・住民に求められる行動	
〇〇川はん濫発生情報	はん濫の発生(レベル5)	[市町村]新たにはん濫が及ぶ区域の住民の避難誘 導	
(洪水警報)	(はん濫水の予報 [※])	[住民]新たにはん濫が及ぶ区域では避難を検討・判 断	
〇〇川はん濫危険情報	はん濫危険水位(レベル4)に到達	[住民]避難を完了	
(洪水警報)	1670温池快小屋(レーバル・バー)に到足		
〇〇川はん濫警戒情報		[市町村]避難勧告等の発令を判断し、状況に応じて 発令	
(洪水警報)	いは避難判断水位(レベル3)に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合	[住民]避難を判断	
〇〇川はん濫注意情報	はん濫注意水位(レベル2)に到達	[市町村]避難準備情報の発令を判断し、状況に応じて発令	
(洪水注意報)	し、さらに水位の上昇が見込まれる場合	[住民]はん濫に関する情報に注意	

自治体から出される避難情報

	河川等の状況	住民が取るべき行動
避難指示	〇河川のはん濫、または床上浸水が発生 し、被害が拡大している 〇危険な区域に人が残っている	〇避難を完了していない場合は、ただちに避難する 〇指定避難場所に移動している余裕がない場合は、 安全な場所に緊急避難するなど、生命を守るための 行動を取る
避難勧告	〇河川の水位が避難判断水位を超え、さらに上昇することが予想される(はん濫警戒情報発令)〇河川管理施設(堤防や護岸など)に異常が確認される〇床下浸水や道路冠水などが発生する〇大雨洪水警報や記録的短時間大雨情報などが発表され、避難の必要が認められる	〇一般住民は避難行動を開始する
避難準備	〇河川の水位がはん濫注意水位を 超え、さらに上昇することが予想され る	〇災害時要配慮者は避難を開始する 〇家族との連絡、持出品の用意など避難の準備をする

②避難場所を知る

ハザードマップ

どこに避難すれば良いか?

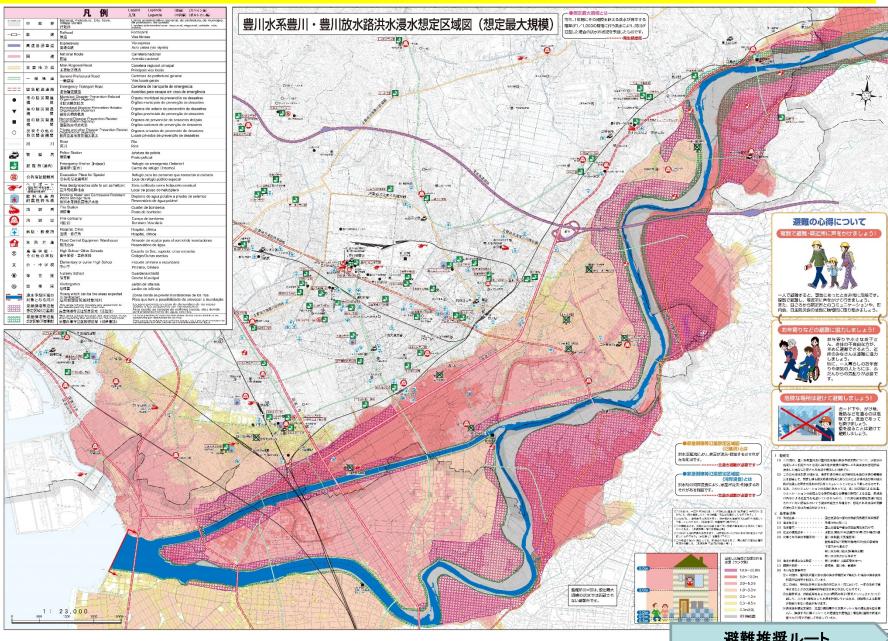


- ①浸水する可能性がある範囲から抜け出す。
- ②指定された避難場所に避難する。



自治体が配布している"洪水ハザードマップ" を見て、浸水の恐れのある場所、避難場所を把握 する。

豊川市 洪水ハザードマップ(豊川版)



③避難の推奨ルートを決める

避難場所には、どの経路で移動すれば安全か

地域の危険箇所を踏まえたルート設定

避難する際は危険な箇所を回避して、より安全な経路により避難場所まで移動することが重要です。



- ・避難時を想定し、実際に歩いて危険箇所を確認します。
- ・要配慮者への対応や夜間時の避難など、地域の実情などを考慮して、もっとも安全な経路を全員で考える。

1. 水害の基礎知識

国土交通省豊川河川事務所より説明

豊川は段戸山を源とし三河湾に流れる。

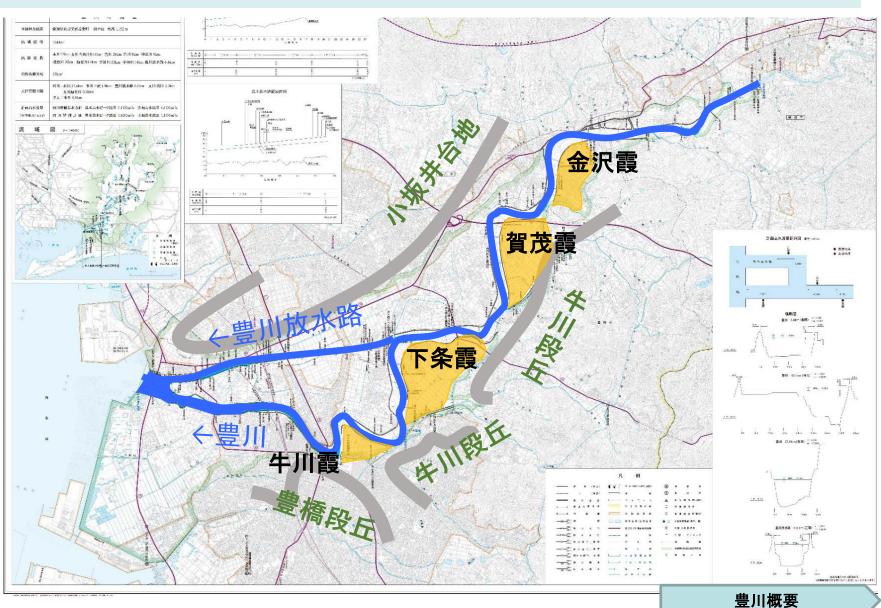








台地と段丘に囲まれた地形を豊川は流れている。



豊川は私たちの生活に密着している。











豊川は昔から水害がたくさん起こっている。



昭和37年7月浸水状況(豊川市当古町)



昭和43年8月浸水状況(新城市豊島)



昭和44年8月浸水状況(新城市八名井)

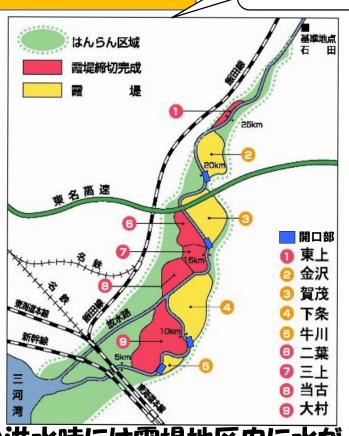


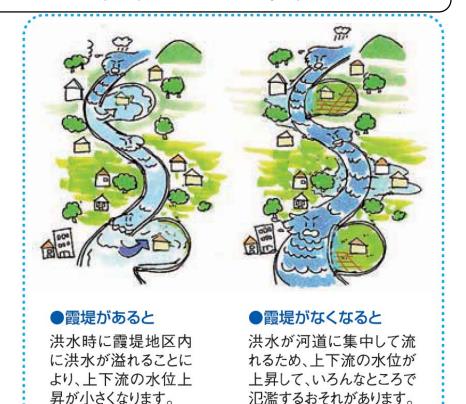
昭和54年10月台風 江島橋

豊川は昔から水害がたくさん起こっているので、色んな対策を行っている。

霞堤 (江戸時代~)

下流部を洪水から守るため"霞堤"と呼ばれる不連続な堤防が豊川の中下流部に設けられたと言われている。





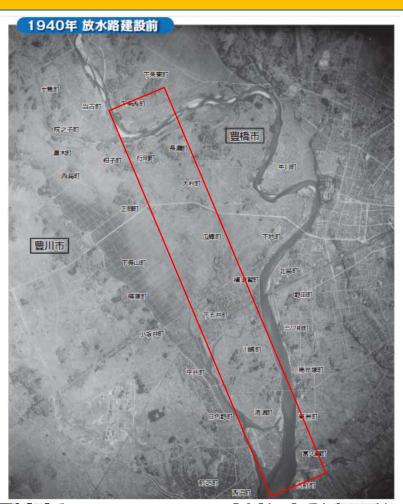
- ○洪水時には霞堤地区内に水が入ることで、下流が守られている。
- ○現在は、左岸側の金沢、賀茂、下条、牛川の4箇所の霞堤が残っている。

洪水時には霞堤地区内に水が入ることで、下流が守られている。



豊川は昔から水害がたくさん起こっているので、色んな対策を行っている。

豊川放水路(昭和40年(52年前)完成)





下流部にもう一つの川(放水路)を作り洪水時には二つの川で豊川の水を流す

豊川の治水対策

豊川は昔から水害がたくさん起こっているので、色んな対策を行っている。

豊川放水路 (昭和40年(52年前)完成)

豊川の水位が高くなった時に、豊川放水路のゲートを開け豊川放水路に水を流すことで、豊川の水位を下げる。

洪水時に、国土交通省の職員が放水路のゲート操作を行っている



こうした対策を行ったら、豊川や みんなの身近な川では水害は起こらない?



水害から守る対策を行ってきたが

今でも水害が起きる可能性は十分ある。

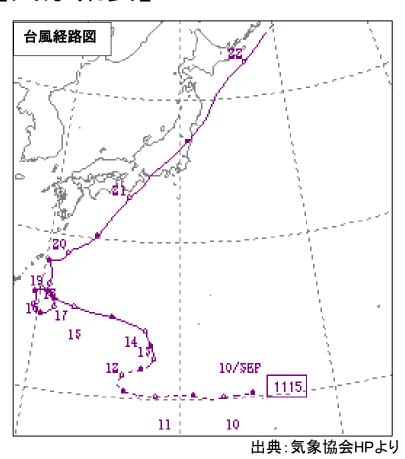
近年、豊川では。。。

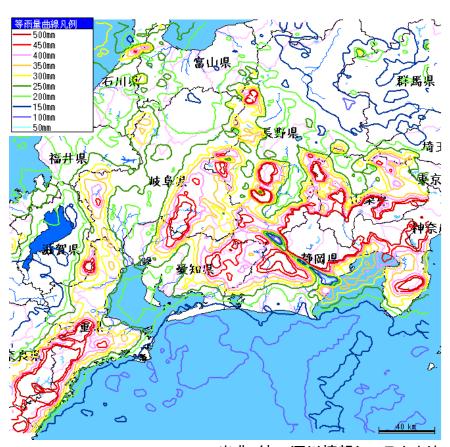
27

大河川で水位が上昇した例(平成23年15号台風)

平成23年台風15号(気象概要)

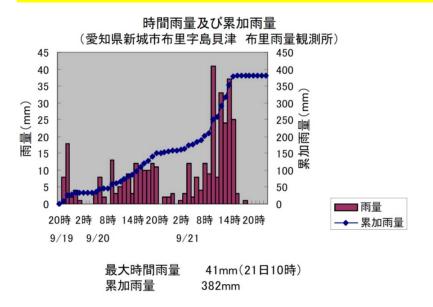
【気象概要】

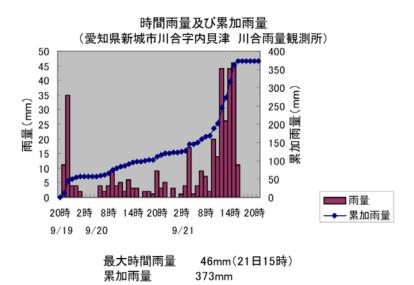




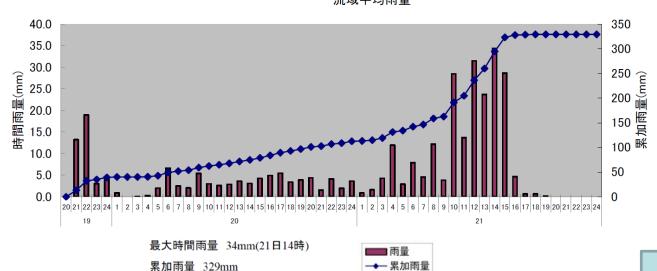
出典:統一河川情報システムより

豊川の降雨状況





豊川流域平均雨量 石田地点上流 流域平均雨量



(参考)雨の強さと降り方

1時間雨量 (mm)	予報 用語	人の受ける イメージ	人への影響	屋内 (木造住宅)	屋外の 様子	車に乗っていて
	やや強 い雨	ザーザーと 降る	足元がぬれる	雨音で声が良 く聞き取れない	地面一面に水 たまりができる	
10以上~ 20未満						_
	強い雨	どしゃ降り	傘をさしてい てもぬれる	寝ている人の 半数くらいが雨 に気がつく		ワイパーを速くし ても見づらい
20以上~30未満						
30以上~ 50未満	激しい雨	バケツを ひっくり返し			道路が川のよ うになる	高速走行時ブレー キが効かなくなる
		たように降 る				

- 電堤地区内に洪水が侵入し、一部洪水被害が発生
- 豊川放水路による洪水分派や河川改修により中下流部の洪 水被害は軽減



豊橋市役所より豊川を望む





豊川放水路分派堰より下流を望む



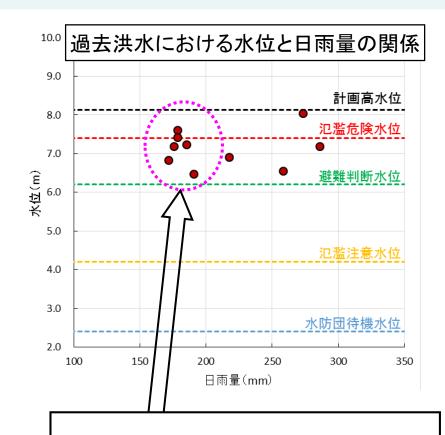
豊川の水位上昇状況

・平成23年台風15号は、平成以来の最高水位を記録した。

順位	発生 年月	石田水位 (m)	日雨量 (mm)	備考
1	S44.8	8.04	273.4	
2	H23.9	7.61	178.2	台風15号
3	S54.10	7.42	178.4	
4	S43.8	7.24	185.2	
5	H30.10	7.20	175.8	台風24号
6	S49.7	7.20	285.8	
7	H15.8	6.92	217.3	台風10号
8	S40.9	6.83	171.5	
9	S37.7	6.55	258.0	
10	S34.9	6.48	190.5	

・石田水位観測所では、氾濫危険水位を 超えた7.61mが観測された

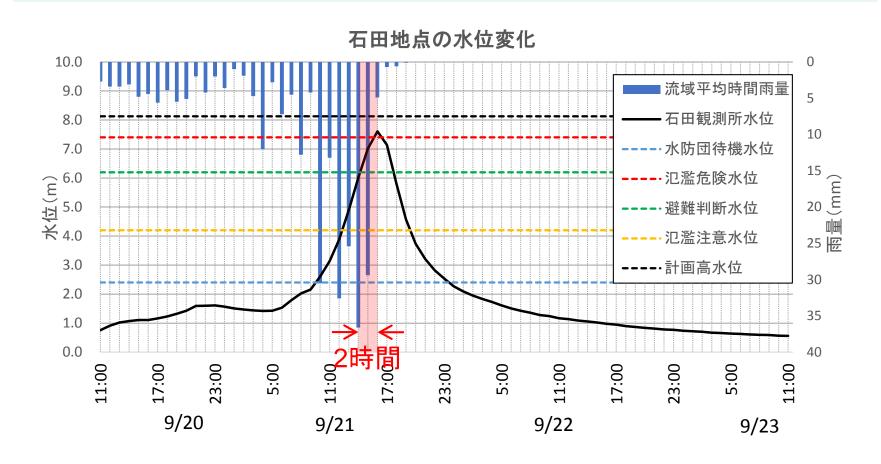




日雨量が180mm程度前後の場合、 氾濫危険水位を超える恐れがある

豊川の水位の特性把握

- ・降雨の観測とほぼ同時に水位が上昇する傾向にある。
- ・大雨時の避難行動は危険。
- ・平成23年台風15号は、降雨ピークの約2時間後、水位もピークとなった。



2. 避難・災害カード(マップ形式)の作成

(1)マップの構成(表面、裏面)

避難・災害カード(マップ形式)(表面)に記載する内容

表面:危険箇所や避難の推奨ルートを示します。

- ①避難時に危険と思われる箇所:まち歩きを行い確認します。
- ②避難の推奨ルート: 危険箇所を踏まえて住民が話し合って決めます。
 - マイマップは、自宅 の冷蔵庫などの目に 留まる場所に掲示し ておくことを想定し ている

(東京都稲城市 大丸自治会)

- ~主な記載内容~
- •避難場所
- ・地区の危険箇所 (浸水想定区域等)
- 過去の災害状況
- ・避難時の留意点 等



出典:内閣府HP http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinankankoku/pdf/meishi1.pdf

避難・災害カード(マップ形式)(裏面)に記載する内容

- 裏面:●●(自治会等)の決めごと、防災に関する情報等を記載します。
- ①●●(自治会等)の決めごと:避難の際、自治会で共有しておくべき事項
- ②避難のきっかけ:避難のタイミング(とるべき行動)
- ③避難情報の入手方法:避難時に必要な情報を入手する方法
 - マップの裏面にワークショップで、関係機関から提供のあった資料・情報を整理して作成

(愛媛県大洲市 三善地区自主防災組織)

- ~主な記載内容~
- ・災害情報の入手先
- ・入手の手順
- ・ 土砂災害の前兆

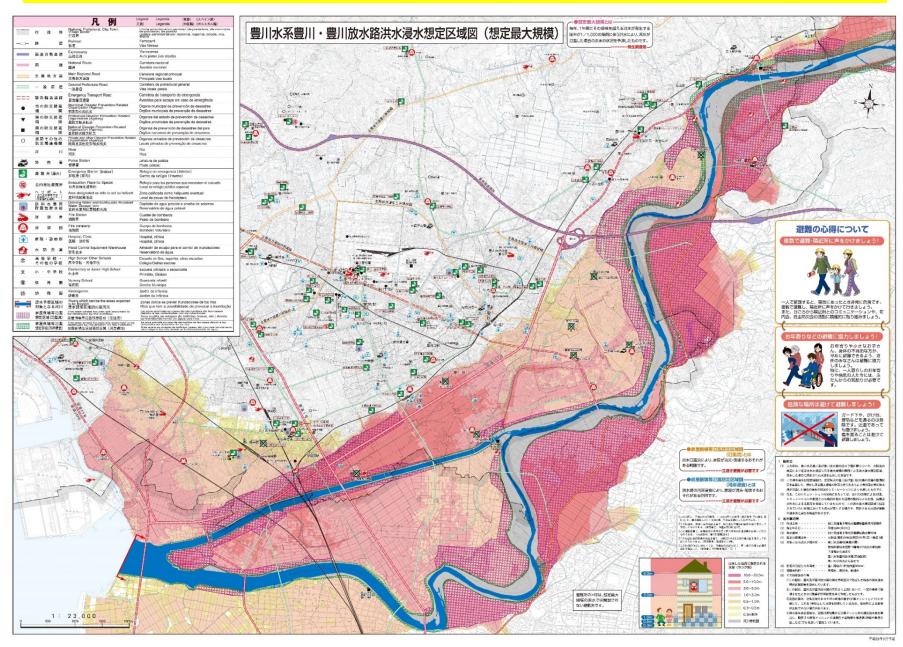


出典:内閣府HP http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinankankoku/pdf/meishi1.pdf

2. 避難・災害カード(マップ形式)の作成

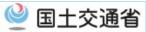
(2)地形など地域特性の把握

地域特性の把握(ハザードマップの活用)

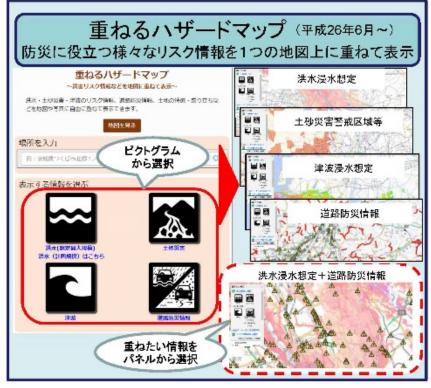


地域特性の把握(ハザードマップポータルサイトの活用)

ハザードマップポータルサイト



防災に役立つ情報が満載! 様々な情報をより便利・簡単に活用できる! ハザードマップポータルサイトをチェックしましょう





ハザードマップポータルサイトhttps://disaportal.gsi.go.jp/

ハザードマップ





地域特性の把握(ハザードマップポータルサイトの活用)

「重ねるハザードマップ」
大雨が降ったときに危険な場所を知る



「浸水のおそれがある場所」「土砂災害の危険がある場所」「通行止めになるおそれがある道路」 が1つの地図上で、分かります。





危険な場所を知り、 避難ルートの検討に便利!

43

地域特性の把握(ハザードマップポータルサイトの活用)

「わがまちハザードマップ」



🤎 国土交通省

様々な種類の全国の市町村のハザードマップを閲覧できます

地図から選択



洪水八ザードマップ



内水八ザードマップ



東京都大田区洪水ハザードマップ

東京都港区浸水ハザードマップ

栃木県宇都宮市土砂災害ハザードマップ

津波ハザードマップ

高潮ハザードマップ



三大湾の高潮浸水想定



山口県下関市高潮ハザードマップ

大阪湾高潮浸水区域図

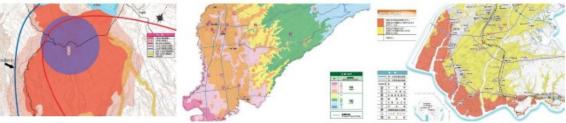
高知県高知市津波ハザードマップ

災害種別から選択



火山ハザードマップ

震度被害(揺れやすさ)マップ 地盤被害(液状化)マップ



北海道白老町樽前山火山防災マップ

静岡県二島市揺れやすさ・防災マップ

愛知県西尾市液状化危険度マッフ

44

地形等の地域特性

自宅付近や避難所、近くの堤防、道路などの標高を 地図で確認し、浸水しやすい低地の場所など 地域の地形特性をあらかじめ把握しておきましょう。



地形特性を把握しておくと、より安全な避難ルートを見つけるのに役立ちます。

【作業手順】

- ①自宅、公民館、駅、市役所など主要施設の位置を確認
- ②河川の位置の確認(豊川、その他の河川・水路)
- ③避難場所の確認
- ④地盤高(自宅付近、避難所、近くの堤防や道路など)の読み取り
- ⑤想定浸水深の確認(浸水深の凡例、イラスト)

2. 避難・災害カード(マップ形式)の作成

(3)危険箇所の記入

危険箇所の例

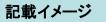
浸水したときのイメージをできる限り想像して、避難時の危険箇所を地図に書き込みましょう。

◇道路が冠水すると・・・

<u>◇地盤が低いところに</u> 水がたまると・・・ <u>◇段差や通行幅が狭</u> い箇所は・・・



◆蓋のない水路がある と、足をとられて流さ れてしまう危険性が あります。 ◆少しの雨でも水たまりのできる箇所は、 通れない可能性があります。 ◆特に、車椅子の方や 要配慮者は通りにく い場合があります。



危険箇所の記入イメージ



危険箇所の把握と地図への記載

【作業手順】

次の順番で危険箇所を記入します。

- ①低い地盤(日頃から水たまりのある箇所)
- ②蓋のない水路、田んぼなど転落すると危険な箇所
- ③大きな段差や急な坂
- ④街灯がない道(夜道に見えにくい道路)
- ⑤交通量の多い道
- ⑥その他(雨でぬかるんだり歩きにくい場所等)



2. 避難・災害カード(マップ形式)の作成

(4)まち歩きルートの記入

避難ルートの記入(まち歩き用地図の完成)イメージ



2. 避難・災害カード(マップ形式)の作成

(5)まち歩きの実施

まち歩きの実施

【作業手順】

- ①現地で危険箇所の確認
- ②新たに発見した危険箇所の確認
- ③より安全な避難ルートの記録

注意!

- ●交通事故に気を付けましょう。
- ●時間内に会場へ戻りましょう。



危険箇所が無いか足下を確認しましょう。

気づいたことはみんなで共有しましょう。

2. 避難・災害カード(マップ形式)の作成

(6)まち歩き結果の共有と避難経路の設定

まち歩き結果の共有と避難の推奨ルートの設定







班ごとにまち歩き結果を発表

【作業手順】

- ①班ごとにまち歩き結果を発表用地図に記入する
- ②班ごとで安全な避難ルートの確認
- ③班ごとにまち歩き結果の発表による情報の共有



避難所までの推奨ルートを設定

3. 避難・災害カード(マップ形式)の作成

※まち歩きの結果をマップに整理しておくことが必要です

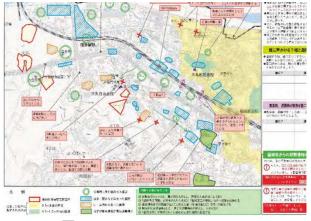
4. 避難・災害カード(マップ形式)の確認と共有

確認と共有の内容

1. 避難・災害カード(マップ形式) 【表面】の確認

- まち歩き結果がしっかりと反映されているか。
- 危険箇所の抜け落ちがないか。
- 見やすいマップとなっているか。

(30分程度)



2. 避難・災害カード(マップ形式)【裏面】の話し合い

- ●●(自治会等)の決めごとの決定 (避難の方針、日頃の備え等)
- ・避難を始めるきっかけの確認
- •避難情報の入手方法
- 非常持ち出し品、連絡先 等

(45~60分程度)



4. 避難・災害カード(マップ形式)の確認と共有

(1)避難・災害カード(マップ形式)【表面】の確認

避難・災害カード(マップ形式)【表面】の確認

●●地区に移転されてきた方、遊びに来られた方などにも、 わかり易いマップにすることが重要です。

【避難・災害カード(マップ形式)【表面】の確認事項】

- ①皆さんで決めた避難の推奨ルート、その他のルートは正しいですか。
- ②避難時に注意すべき**危険**箇所は、すべて記載されていますか。
- ③避難所、駅、市役所などの主要施設は分かり易く記載されていますか。
- ④レイアウト上、修正すべき点はありませんか。(枠線、字の大きさ、色合い等)
- ⑤その他、追加すべき項目はありませんか。

4. 避難・災害カード(マップ形式)の確認と共有

(2) 避難・災害カード(マップ形式) 【裏面】の話し合い

避難時の確認事項等の話し合い

【記載すべき項目】

- ①●●(自治会等)の決めごと
 - ・避難の方針
 - ・日頃からの備え
- ②避難を始めるきっかけ
 - 豊川の水位が...
- ③避難情報の入手方法
 - •情報入手先
 - •連絡先、非常持ち出し品 等

【話し合い時のルール】

- ①出来るだけ、全員が意見を述べるようにしましょう。
- ②人の意見は否定しない。
- ③本日、参加していない住民のためになるマップを意識する。

●●(自治会等)の決めごと

【避難の方針】(例)

- ・豊川市(●●)の避難所は、●●小学校と●●保育園です。
- ・■■より南側にお住まいの方は●●小学校へ避難し、■■より北側にお住まいの方は●●保育園へ避難しましょう。

(避難時には、▲▲水路に架かる橋を渡らないことが原則です。)

- ・歩行が困難な要配慮者の方は、自動車等で広い道を通って、早めに
 - ●●小学校もしくは●●センターへ避難しましょう。
 - (●●保育園へは車を使って避難しないこと。)
- 避難情報を入手し、下記の「避難を始めるきっかけ」を参考に、各家庭が自らの判断で避難行動をとれるようにしましょう。

【日頃の備え】

• NHKデータ放送やインターネットを利用して、豊川の水位を把握 できるように日頃から備えましょう。

避難を始めるきつかけ(避難情報等の理解)

- ・災害時には、豊川市から住民の皆さまに「避難準備情報」「避難勧告」「避難指示」を発令します。
- これらの違いをあらかじめ理解しておくことが【自らの身を守る】ことにつながります。

■避難準備情報

- 住民に対して避難準備を呼びかける。
- ・高齢者や障がい者などの災害時要配慮者に対しては、早めの段階で避難 行動を開始することを求めるもの。

■避難勧告

・災害によって被害が予想される地域の住民に対して、避難を勧めるもの。

■避難指示

- 住民に対し、避難勧告よりも強く避難を求めるもの。
- ・避難勧告よりも急を要する場合や人に被害が出る危険性が非常に高まった場合に発表するもの。
- ただちに避難行動を開始してください。

避難を始めるきつかけ(避難情報のタイミング)

- ・洪水により豊川の水位が上昇し、危険な状況が想定される場合には、豊川市から避難情報が下記のタイミングで発表されます。
- ・水位状況に応じて、各自がとるべき避難行動を把握しておきましょう。

大雨が降り出したら

避難の呼びかけに注意を

危険が迫ったときは、市役所や消防団から避難 の呼びかけをします。呼びかけがあった 場合には、速やかに避難してください。



ラジオ・テレビで最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。 雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険 を感じたら自主的に避難しましょう。



避難情報の入手方法、避難所一覧など



豊川市風水害避難所一覧

名 移	F	所在地	電話番号
	東部	中学校区	
豊川公民館	西	豊町2丁目225	84-5613
睦美地区市民館	三	谷原町村前15	84 - 7598
古宿地区市民館	中	央通2丁目55	84-6134
桜木地区市民館	東	光町3丁目9	84-1410
	金屋	中学校区	•
金屋地区市民館	金	屋本町1丁目61-1	85 - 7894
三蔵子地区市民館	大	崎町小林87	84-6611
	南部	中学校区	
中部西地区市民館	蒋 萩	山町1丁目52-2	84 - 4794
牛久保公民館	牛	久保町若子52-1	86-6251
中条地区市民館	中	条町宮坪21-1	85-8931
	代田	中学校区	•
代田地区市民館	新	道町2丁目42	85 - 9463
桜町地区市民館	桜	町3丁目1-5	85-9617
	中部	中学校区	
八南公民館	野	口町縄手下23	84 - 5335
千両地区市民館	千	両町小路8-4	83-0567
平尾地区市民館	平	尾町中貝津2	88 - 2750

名 称	所在地	電話番号
	西部中学校区	
1ミュニティセンター国府市民館	国府町下河原62-1	87-7817
御油公民館	御油町美世賜185	87 - 7214
	一宮中学校区	
一宮東部小学校	上長山町東水神平44-2	93 - 2009
一宮西部小学校	一宮町緑1	93 - 2007
長慶寺(風水害のみ開設)	金沢町藤弦3·4合地	93 - 4623
	音羽中学校区	
赤坂台地区市民館	赤坂台1608	88-2810
萩地区市民館	萩町塩ノ田75-1	88-6262
長沢地区市民館	長沢町午新122	87 - 4455
	御津中学校区	
西方地区市民館	御津町西方宮長31	75 - 2483
広石地区市民館	御津町広石船津34-1	76-3515
1	小坂井中学校区	
小坂井生涯学習会館	宿町光道寺40	72 - 2165

これで避難・災害カード(マップ形式)は 完成です。

日頃から目に付くところに張り付けるなど、 平常時からいざというときに備えましょう。 避難時には「パッ」と持ち出して、 スムーズに避難できるように工夫しましょう。

マイベからず集の作成

はじめに

◎マイベからず集とは

<u>豊川の洪水時に自らの命を守るために</u>

"「いつ」「どのように行動すべきか」"を まとめたものです。

◎主な取組内容

- ①平常時、洪水発生時、避難時、洪水発生後等の**様々な想 定される場面**を選びます。これが「いつ」です。
- 2場面ごとにやるべきこと、注意するべきことを話し合います。これが「どのように行動すべきか」です。
- ③最後に『心得』として**べからず**な掟を考えます。

べからず集のサンプル

●目次

べからず集~10の心得~

場面	項目
	① 自分は安全と思いこむべからず
	② 避難時の備えを怠るべからず
平常時 (日頃から備えるため (こ)	③ ご近所のつながりを甘く見るべからず
	④ 情報入手方法の確認を怠るべからず
	⑤ 豊川の洪水の特徴を忘れるべからず
	⑥ 豊川の洪水と闘った先人の苦労を忘れるべからず
	⑦ 土砂災害の危険箇所も忘れるべからず
洪水発生の 直前 (逃げ遅れないため に)	⑧ 自助の意識を怠るべからず
安全に 避難移動 するために	⑨ 1つの避難先・避難経路にこだわるべからず
洪水発生後 (逃げ遅れたとき 身を守るために)	⑩ 周辺の浸水時や夜間に無理に屋外避難をするべからず

①平常時(日頃から備えるために)

①「自分は安全と思いこむべからず」

◆ 過去の浸水実績図や洪水ハザードマップを確認し、自宅や生活圏 (勤務先、通学先、経路等)の洪水時の浸水の危険性と、避難所、 迂回路等を把握しておきましょう。



■近年の豊川における浸水実績図

(出典:豐川霞堤地区浸水被害軽減対策計画、H28.7.12,p17、 URL http://www.cbr.mlit.go.jp/toyohashi/kaigi/kasumi/pdf/2shiryou2.pdf)



■豊川水系豊川浸水想定区域図(想定最大規模)

(出典:国土交通省 豊橋河川事務所 ホームページ、 http://www.cbr.mlit.go.jp/toyohashi/bohsai/shinsui/toyokawa/toyo_ks_max.html)

1

「いつ」をイメージする

いつ

どんな場面が想定されるか?



- ①平常時
- ②洪水発生時
- ③避難時
- ③洪水発生後等

洪水が発生した時、避難するときだけではなく、「常日頃から」「学校では」「外出中では」 といったいろいろな場面をイメージすることが大切です。

「場面ごと」の心構えを話し合う

どのように行動すべきか

場面ごとに

どんな心構えが必要か話し 合ってください。

- ・注意すべきこと
- ・困っていること
- ・疑問に思っていること

について、お互いに意見を出 し合って、とるべき行動を決め ましょう。 ①平常時(日頃から備えるために)

①「自分は安全と思いこむべからず」

◆ 過去の浸水実績図や洪水ハザードマップを確認し、自宅や生活圏 (勤務先、通学先、経路等)の洪水時の浸水の危険性と、避難所、 迂回路等を把握しておきましょう。



■近年の豊川における浸水実績図

(出典: 豊川霞堤地区浸水被害軽減対策計画、H28.7.12,p17、 URL http://www.cbr.mlit.go.jp/toyohashi/kaigi/kasumi/pdf/2shiryou2.pdf)



■豊川水系豊川浸水想定区域図(想定最大規模)

(出典:国土交通省 豊橋河川事務所 ホームページ、 http://www.cbr.mlit.go.jp/toyohashi/bohsai/shinsui/toyokawa/toyo_ks_max.html)

1

最後のまとめ

「心得」としてまとめる

まとめる

いざ、というときに思い出せないようではもったいないです。

一言でまとめることで、 「いざ」というときでも、

どのように行動するべきかを 思い出せるように、話し合った 内容を「心得」としてまとめま しょう。

●目次

べからず集~10の心得~

場面	項目
平常時 (日頃から備えるため (こ)	① 自分は安全と思いこむべからず
	② 避難時の備えを怠るべからず
	③ ご近所のつながりを甘く見るべからず
	④ 情報入手方法の確認を怠るべからず
	⑤ 豊川の洪水の特徴を忘れるべからず
	⑥ 豊川の洪水と闘った先人の苦労を忘れるべからず
	⑦ 土砂災害の危険箇所も忘れるべからず
洪水発生の 直前 (逃げ遅れないため に)	⑧ 自助の意識を怠るべからず
安全に 避難移動 するために	⑨ 1つの避難先・避難経路にこだわるべからず
洪水発生後 (逃げ遅れたとき 身を守るために)	⑩ 周辺の浸水時や夜間に無理に屋外避難をするべからず